

令和5年度 三草小学校 学校評価

4:よくあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない

※昨年度比
0.3P以上、
上昇

0.3P以上、
下降

0.5以上
上昇(☆)
下降(★)

2点台

| 項目 | No | 内容 | R5年度 | R4年度 | R3年度 | R2年度 | R元年度 | |
|--------------------------|----|-----------|---|------|------|------|------|------|
| 1 互いのよさを認め合い、高め合う人間関係づくり | 1 | 実践目標 | 学校教育目標を共通理解して学級経営方針を立てる。 | 3.33 | 3.30 | 2.70 | 3.30 | 3.50 |
| | | 保護者評価 | 本校の教育目標やめざす子ども像は理解できる。 教育目標:『ともに』～心豊かでたくましい三草っ子の育成～ めざす子ども像:【自ら学びともに考え行動できる子】【豊かな心で自分も他者もともに大切にできる子】【明るく健康でたくましくともに生きる子】～関わり合いを通して～ | 3.59 | 3.48 | 3.47 | 3.58 | 3.35 |
| | | 児童評価 | めあてをもって生活することができていますか。 | 3.12 | 3.32 | 3.37 | 3.28 | 3.34 |
| | | 成果 | 学校教育目標を理解し、学級経営方針を策定して経営を行った。全校生の合言葉「ともに」の意味を機会あるごとに確認しながら、教職員全員で教育活動を行うことができた。 | | | | | |
| | | 課題と改善の方向性 | チームとして、それぞれの実践を交流したり、実態に応じた取組を相談したり等しながら、相互理解をし、より建設的な意見交流を通して、児童一人一人に寄り添った学級経営を行っていく。 | | | | | |
| | 2 | 実践目標 | 特別支援教育や人権教育の視点を大切に、子どもの特性と気持ちに寄り添う。 | 3.00 | 3.10 | 3.10 | 3.10 | 3.09 |
| | | 保護者評価 | 学校は、子どもの気持ちに寄り添って接している。 子どもは、学校に通うのが楽しいと思っている。 | 3.51 | 3.23 | 3.28 | 3.47 | 3.31 |
| | | 児童評価 | 学校は、楽しいですか。 クラスで安心して過ごせていますか。 | 3.56 | 3.44 | 3.35 | 3.64 | 3.46 |
| | | 成果 | 教職員のきめ細かな情報共有を図り、特別支援教育や人権教育の視点での児童理解、さらには、保護者や関係機関との連携を図りながら、個に応じた支援を行うことができた。 | 3.35 | 3.54 | 3.68 | 3.64 | 3.67 |
| | | 課題と改善の方向性 | 教職員の資質や人権意識をより高めていくための研修を継続実施するとともに、情報共有をもとに、児童に寄り添ったより充実した教育活動の充実に努める。 | 3.37 | 3.32 | 3.61 | 3.45 | 3.60 |
| | 3 | 実践目標 | 学級経営方針に沿って、中長年に渡る意図的、計画的な学級づくりを進める。 | 2.83 | 3.10 | 2.90 | 3.20 | 3.20 |
| | | 保護者評価 | 学校は、行事(運動会、学習発表会等)を工夫し、特色ある学校づくりに努めている。 | 3.59 | 3.58 | 3.38 | 3.53 | 3.35 |
| | | 児童評価 | 学級目標は、達成できていると思いますか。 | 3.28 | 3.40 | 3.48 | 3.42 | 3.65 |
| | | 成果 | 教職員の情報共有を行いながら多面的、多角的な視野に立って教育活動を見直し、意図的、計画的な学級経営ができた。 | | | | | |
| | | 課題と改善の方向性 | 1年間の見直しをもって経営計画をすするとともに、その評価・見直し、修正を行い、情報共有して多様な視点で検討しながら学級経営の充実に努める。 | | | | | |
| 2 対話を通して高め合う授業づくり | 4 | 実践目標 | 児童が自ら進んで課題に取り組めるように、課題提示を工夫する。 | 2.92 | 3.20 | 2.90 | 2.70 | 2.80 |
| | | 保護者評価 | 学校は、子どもが進んで課題に取り組めるように、ICT機器を活用したり、教材を工夫したりするなど、学習意欲を高める授業づくりに努めている。 | 3.41 | 3.58 | 3.45 | 3.53 | 3.21 |
| | | 児童評価 | どんな勉強をするのか、楽しみなことがありますか。 学習のめあてを読んで、どんな学習をするのか分かりますか。 | 3.02 | 3.25 | 3.45 | 3.42 | 3.71 |
| | | 成果 | 研修を通して教材研究やICT機器の活用の充実に努め、児童の意欲を喚起する課題提示の工夫を行うことができた。 | 3.12 | 3.47 | 3.39 | 3.31 | 3.46 |
| | | 課題と改善の方向性 | 基礎的・基本的な学びの定着をめざし、児童が課題に向かって学びを深めていけるような授業づくりについて研究推進し、充実に努める。 | | | | | |
| | 5 | 実践目標 | 児童同士が関わり合う、対話のある授業づくりを工夫する。 | 2.58 | 2.70 | 2.90 | 2.50 | 2.90 |
| | | 保護者評価 | 学校は、子ども同士が意見交流するなど、対話のある授業づくりに努めている。 | 3.49 | 3.39 | 3.35 | 3.44 | 3.33 |
| | | 児童評価 | 友達と意見交流しながら勉強することは、楽しいですか。 友達の考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりすることができていますか。 | 3.46 | 3.34 | 3.52 | 3.54 | 3.58 |
| | | 成果 | 道徳科を核として、考え、議論する授業づくりについての研究を推進する中で、互いの意見を尊重したり、多様な方法で関わり合いのある授業づくりを行うことができた。 | 3.44 | 3.41 | 3.35 | 3.50 | 3.42 |
| | | 課題と改善の方向性 | 自分の考えとの対比をしながらか他の考えを聞いたり、意見を述べたりすることができるように、児童の基礎的なスキルの向上を図るとともに、人とのつながりを意識した授業づくりを構築する。 | | | | | |
| | 6 | 実践目標 | 子どもが、自ら判断し、決定できる時間を確保する。 基礎的・基本的な知識・技能や学習習慣の定着を図る指導を充実させる。 | * | * | 3.30 | 2.80 | 3.00 |
| | | 保護者評価 | 子どもは、授業中じっくりと考え、自分の意見を持つよう努力している。 子どもは、家庭で時間を決めて学習に取り組んでいる。 | 2.75 | 3.00 | * | * | * |
| | | 児童評価 | 授業の中で自分の考えをついたり、書いたり、発表したりすることは、楽しいですか。 授業の中で自分で考え、ノートに書いたり発表したりしていますか。 新しいことを知ったり、学習したりすることは楽しいですか。 | 3.21 | 2.94 | 3.22 | 3.14 | 3.20 |
| | | 成果 | 少人数の良さを生かして、きめ細かに個別の最適学習をめざして、実践することができた。 | 3.04 | 2.97 | 3.25 | 3.13 | 3.31 |
| | | 課題と改善の方向性 | 基礎的・基本的な知識・技能、学習習慣の定着を図る指導の充実に努めてきたが、より充実させていくために創意工夫して実践していく必要がある。少人数であることのメリットを生かして、さらに鍛えていく。 | 3.26 | 3.18 | 3.35 | 3.38 | 3.64 |
| 3 心の醸成と健康な体づくり | 7 | 実践目標 | 自他の良さを知り、自分や学級、学校をよりよくしようとする態度を育てる。 | 3.17 | 3.10 | 2.90 | 2.90 | 3.08 |
| | | 保護者評価 | 子どもは、自分の良さに気づいている。 子どもは、友だちの頑張りの話をよくする。 | 3.05 | 2.72 | 2.90 | 2.89 | 2.92 |
| | | 児童評価 | 自分や友達のよさに気づき、学級や学校をよりよくしようとして努力していますか。 | 3.10 | 3.13 | 2.83 | 3.01 | 2.92 |
| | | 成果 | 自分の役割を責任をもって果たそうとしている。学校行事や児童会活動等により、異学年との交流や活動を通して自己肯定感を高めるとともに、目標を持って挑戦しようとする姿が見られるようになった。 | 3.26 | 3.34 | 3.48 | 3.30 | 3.45 |
| | | 課題と改善の方向性 | 自分のよさを肯定的に見つめる機会や、互いに切磋琢磨する機会を設け、多面的、多角的により向上していこうとする児童の育成をめざして実践していく。 | | | | | |
| | 8 | 実践目標 | 自分の生活を客観的に見つめ、自律的に生活できる児童を育てる。 | 2.33 | 2.60 | 2.80 | 2.80 | 2.90 |
| | | 保護者評価 | 学校は、自律的に生活できる子を育てるとともに、いじめを許さない風土づくりに努めている。 子どもは、思いやりの心が育っている。 子どもは、周囲に流されずに物事の善し悪しを判断している。 | 3.49 | 3.23 | 3.28 | 3.38 | 3.24 |
| | | 児童評価 | 相手の気持ちを考え、話したり行動したりしていますか。 人に迷惑をかけずに、ルールを守って生活していますか。 | 3.31 | 3.13 | 3.30 | 3.36 | 3.20 |
| | | 成果 | 学級での目標や生活目標に基づいて、自分の生活を振り返り、それを次の生活へと意識づけることができています。 | 3.15 | 2.88 | 3.17 | 3.16 | 3.01 |
| | | 課題と改善の方向性 | 自分の言動を客観的にとらえ、自律的に生活できるように、特別活動や道徳科の授業等を通して、学びを深めるとともに、豊かな心の醸成を図っていく。 | 3.32 | 3.46 | 3.48 | 3.45 | 3.50 |
| | 9 | 実践目標 | 仲間と共に体を動かすことを楽しむ児童を育てる。 | 3.33 | 3.40 | 3.10 | 3.00 | 3.75 |
| | | 保護者評価 | 子どもは、帰宅後や休日に外で友だちと遊んでいる。 | 2.49 | 2.41 | 2.49 | 2.66 | 2.54 |
| | | 児童評価 | 外遊びや運動など、体を動かすことは、好きですか。 | 3.51 | 3.71 | 3.69 | 3.58 | 3.74 |
| | | 成果 | 学校行事や児童会活動、異年齢活動等をきっかけにして、目標を持って努力する姿や教え合ったり励まし合ったりする姿が多く見られた。 | | | | | |
| | | 課題と改善の方向性 | 学級や異学年での集団遊び、活動をさらに充実させることにより、仲間とともに体を動かすことを楽しむ児童の育成をめざす。 | | | | | |
| 4 児童の「将来の自立」に向けたキャリアづくり | 10 | 実践目標 | 体験活動や自治的諸活動を通して、自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を考えさせる。 | 3.08 | 3.00 | * | * | * |
| | | 保護者評価 | 子どもは、たくましく育っている。 | 3.44 | 3.41 | 3.31 | 3.34 | 3.30 |
| | | 児童評価 | 学校や学級での自分の役割を果たしている。 | 3.33 | 3.50 | * | * | * |
| | | 成果 | 外部講師を招聘しての体験活動や校外学習を通して、広い視野での学びの場を多く設けることができ、自分の生き方を見つめる機会になった。また、学校や学級での役割を果たそうと努め、責任をもってやり遂げる姿が見られた。 | | | | | |
| | | 課題と改善の方向性 | 小中一貫教育への移行を考え、広い視野で教育実践していく必要がある。自分らしく生きていける児童の育成のために、教職員全員で情報共有しながら取り組んでいく。 | | | | | |

4:よくあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない

※昨年度比
0.3P以上、
上昇
0.3P以上、
下降

0.5以上
上昇(★)
下降(★) 2点台

| 項目 | No | 内容 | R5年度 | R4年度 | R3年度 | R2年度 | R元年度 |
|----|-----------|---|---|------|------|------|------|
| 11 | 実践目標 | 決めたことを最後までやり抜ける子どもを育てる。 | * | * | 2.90 | 2.90 | 2.90 |
| | 保護者評価 | 自分の目標に向けて、最後までやり遂げられる児童を育てる。 | 3.00 | 3.00 | * | * | * |
| | 児童評価 | 学校は、様々なことを自分で考え、最後までやり抜く子どもの育成に努めている。 | 3.51 | 3.45 | 3.36 | 3.40 | 3.23 |
| | | 勉強や運動で、自分のめあてを決めて取り組んでいますか。 | 3.18 | 3.38 | 3.41 | 3.27 | 3.61 |
| | 成果 | めあてを達成するために、あきらめずに取り組んでいますか。 | 3.42 | 3.40 | 3.54 | 3.39 | 3.57 |
| | 課題と改善の方向性 | 学校行事や特別活動等において、児童が考え、創り出す自治的・自発的な取組を組み入れることにより、自らの目標を掲げて努力したり、活発に活動したりする児童が増えた。 | 自分の具体的な目標を掲げ、粘り強くやり遂げることができるように、さらには、次への意欲へとつながるように、事前事後のきめ細かな指導と支援の充実を図る。 | | | | |
| 12 | 実践目標 | 読書に親しむ児童を育てる。 | * | * | 2.30 | 2.80 | 2.30 |
| | 保護者評価 | 読書活動を推進し、読書に親しむ児童を育てる。 | ★3.00 | 2.50 | * | * | * |
| | 児童評価 | 子どもは、家で、読書をしている。 | 2.29 | 2.00 | 2.06 | 2.16 | 2.00 |
| | | 読書は、好きですか。 | 2.96 | 3.22 | 2.96 | 3.17 | 3.21 |
| | 成果 | 読書をよくしていますか。 | 2.56 | 2.93 | 2.62 | 3.08 | 3.04 |
| | 課題と改善の方向性 | 図書室の環境整備、教職員による本の紹介や掲示、図書委員会や加東市図書館からのお届け図書、読書週間等の活動を通して、本にふれる児童が増えてきた。 | 今年度の実践を継続するとともに、加東市図書館との連携を図ったり、読書タイムやビブリオバトル等の新たな企画を検討したりして、より充実した図書館教育を推進していく。 | | | | |
| 13 | 実践目標 | 学びの足跡が見える掲示物や整理整頓された室内など、学びが深められる環境づくりを行う。 | 3.08 | 2.70 | 2.50 | 2.70 | 2.66 |
| | 保護者評価 | 学校は、時期に応じた掲示物等を工夫するなど学習環境整備に努めている。 | 3.54 | 3.58 | 3.41 | 3.48 | 3.27 |
| | 児童評価 | 学校は、学校備品(PC、タブレット、教具、遊具)の充実に努めている。 | 3.54 | 3.52 | 3.59 | 3.60 | 3.13 |
| | | 学校は、普段の掃除や施設の補修など、整理整頓された環境づくりに努めている | 3.56 | 3.55 | 3.45 | 3.53 | 3.44 |
| | 成果 | 校内の掲示物をよく見えていますか。 | 3.28 | 3.18 | 3.30 | 3.35 | 3.60 |
| | 課題と改善の方向性 | 自分の身のまわりやみんなの使うところを整理整頓していますか。 | 3.07 | 3.35 | 3.35 | 3.41 | 3.46 |
| 14 | 実践目標 | 教室環境の整備や掲示物の運用等、きめ細かに整えることができた。全校生が掲示板に夢中になっている姿が多く見られ、それを励みに次の目標に向かうこともできた。 | 掲示計画や内容等の見直しを行い、学びが深められたり、新たな発見をしたりするような魅力ある環境づくりを行っていく。 | | | | |
| | 保護者評価 | 各種通信やHP、学校オープンにより、保護者や地域に学校情報を積極的に発信する。 | 3.33 | 3.00 | 3.30 | 3.10 | 3.33 |
| | 児童評価 | 学校は、学校だよりやHP等を通じて、学校の様子をわかりやすく伝えようとしている。 | 3.59 | 3.29 | 3.39 | 3.40 | 3.39 |
| | | 学校は、学校の掃除や施設の補修など、整理整頓された環境づくりに努めている | 3.56 | 3.55 | 3.45 | 3.53 | 3.44 |
| | 成果 | 学校・学級通信、Tetoru、HP等を活用して、学校での児童の様子を保護者や地域に向けて、こまめに、かつ、積極的に発信することができた。 | 保護者や地域の方々に向けて、教育活動での取組の伝達だけでなく、学校の考えや大切にしていること等を発信していくことにより、さらに連携を図っていく。 | | | | |
| | 課題と改善の方向性 | 保護者や地域の方々に向けて、教育活動での取組の伝達だけでなく、学校の考えや大切にしていること等を発信していくことにより、さらに連携を図っていく。 | | | | | |
| 15 | 実践目標 | 学校の教育活動を円滑に進めるため、保護者との連絡を密に行い、共通理解を図る。 | ★3.33 | 2.80 | 2.80 | 3.10 | 3.33 |
| | 保護者評価 | 学校は、保護者の悩みや相談に応えようとしている。 | 3.51 | 3.19 | 3.43 | 3.39 | 3.32 |
| | 児童評価 | 保護者とのきめ細かな連絡を取りながら、教育活動を進めることができた。さらに、その内容については、教職員で共有化することができた。 | 保護者の願いや思いを組み入れ、寄り添いながら悩みや相談に応じているが、時には、学校としての考えを明確に伝え、相互理解を図りながら、教育活動を進めていく。 | | | | |
| | | 授業や行事などで地域や外部人材と連携するとともに、児童の感謝する心を育む。 | ★3.50 | 2.80 | 3.00 | 2.40 | 3.33 |
| | 成果 | 学校は、地域や外部機関など、多様な方々と協力しながら学校教育を進めようとしている。 | 3.59 | 3.45 | 3.30 | 3.34 | 3.30 |
| | 課題と改善の方向性 | 地域などのゲストティーチャーの方との関わりは、楽しいですか。 | 3.46 | 3.21 | 3.37 | 3.39 | 3.65 |
| 16 | 児童評価 | 地域の人にあいさつをしていますか。 | 3.74 | 3.76 | 3.73 | 3.71 | 3.68 |
| | 成果 | 地域の人にやさしくなっていると感じることがありますか。 | 3.61 | 3.74 | 3.65 | 3.52 | 3.68 |
| | 保護者評価 | 各学年の授業や学校行事等で地域や外部人材と連携を図ることができ、充実した教育活動を行うことができた。児童の学びに広がりが見られ、関わりを楽しみ、感謝する姿が見られた。 | 1年間の見直しをもって計画的に教育活動を行っていくとともに、体験活動のみにとどまらず、そこから発展的に、応用的に、児童が課題をもって学習していけるように仕組んでいく。 | | | | |
| | 児童評価 | 危険なところに気をつけて、通学していますか。 | 3.72 | 3.79 | 3.89 | 3.76 | 3.79 |
| | 成果 | 訓練や事前事後の学習を充実させたり、救急体制の確立、研修を行ったりして、危機管理意識を高くもって教育活動を行うことができた。 | 学校の新たな危機に対するリスクマネジメントを進めるとともに、学校の日常的な活動にも常に安全が確保されているかを確認しながら、安全・安心な学校づくりをしていく。 | | | | |
| | 課題と改善の方向性 | 学校の新たな危機に対するリスクマネジメントを進めるとともに、学校の日常的な活動にも常に安全が確保されているかを確認しながら、安全・安心な学校づくりをしていく。 | | | | | |
| 17 | 実践目標 | 生活指導、保健指導(心のケアも含む)等に関して、体制の整備や指導・相談の充実を図る。 | 2.92 | 2.60 | * | * | * |
| | 保護者評価 | 教職員間の情報共有をきめ細かく行い、全校生をチームとして見守り、今後の取り組みについて検討することができた。 | 学校での取り組みを、必要に応じて保護者へも情報発信していく。 | | | | |
| | 児童評価 | 先生は、自分の話をよく聞いてくれたり、一緒に遊んだりしてくれますか。 | 3.54 | 3.72 | 3.66 | 3.58 | 3.72 |
| | | 仕事の手配や優先順位を考えて、また、互いに支え合って、職務を遂行しようとするのができた。 | 夕打ちの活用や協議事項の焦点化により、会議時間の短縮を図る。 | | | | |
| | 成果 | 毎日の夕方の顔合わせにより、情報共有され、共通理解が図られるとともに、コミュニケーションをとり、教職員間の活性化を図ることもできた。 | 2.67 | 3.10 | 3.10 | 2.90 | 3.00 |
| | 課題と改善の方向性 | 職員会議や研修において、協議すべき内容は整理し、より建設的に、かつ、効率的に焦点化したものになるように工夫する必要がある。 | | | | | |
| 18 | 実践目標 | 自身の健康や児童と向き合う時間の確保のため、見直しを持って効率的に職務を遂行する。 | 2.58 | 2.80 | 2.70 | 3.00 | 2.72 |
| | 保護者評価 | 先生は、自分の話をよく聞いてくれたり、一緒に遊んだりしてくれますか。 | 3.54 | 3.72 | 3.66 | 3.58 | 3.72 |
| | 児童評価 | 仕事の手配や優先順位を考えて、また、互いに支え合って、職務を遂行しようとするのができた。 | 夕打ちの活用や協議事項の焦点化により、会議時間の短縮を図る。 | | | | |
| | | 毎日の夕方の顔合わせにより、情報共有され、共通理解が図られるとともに、コミュニケーションをとり、教職員間の活性化を図ることもできた。 | 2.67 | 3.10 | 3.10 | 2.90 | 3.00 |
| | 成果 | 職員会議や研修において、協議すべき内容は整理し、より建設的に、かつ、効率的に焦点化したものになるように工夫する必要がある。 | | | | | |
| | 課題と改善の方向性 | 職員会議や研修において、協議すべき内容は整理し、より建設的に、かつ、効率的に焦点化したものになるように工夫する必要がある。 | | | | | |
| 19 | 実践目標 | 夕打ちの活用や協議事項の焦点化により、会議時間の短縮を図る。 | 2.67 | 3.10 | 3.10 | 2.90 | 3.00 |
| | 保護者評価 | 先生は、自分の話をよく聞いてくれたり、一緒に遊んだりしてくれますか。 | 3.54 | 3.72 | 3.66 | 3.58 | 3.72 |
| | 児童評価 | 仕事の手配や優先順位を考えて、また、互いに支え合って、職務を遂行しようとするのができた。 | 夕打ちの活用や協議事項の焦点化により、会議時間の短縮を図る。 | | | | |
| | | 毎日の夕方の顔合わせにより、情報共有され、共通理解が図られるとともに、コミュニケーションをとり、教職員間の活性化を図ることもできた。 | 2.67 | 3.10 | 3.10 | 2.90 | 3.00 |
| | 成果 | 職員会議や研修において、協議すべき内容は整理し、より建設的に、かつ、効率的に焦点化したものになるように工夫する必要がある。 | | | | | |
| | 課題と改善の方向性 | 職員会議や研修において、協議すべき内容は整理し、より建設的に、かつ、効率的に焦点化したものになるように工夫する必要がある。 | | | | | |
| 20 | 実践目標 | 自身の健康や児童と向き合う時間の確保のため、見直しを持って効率的に職務を遂行する。 | 2.58 | 2.80 | 2.70 | 3.00 | 2.72 |
| | 保護者評価 | 先生は、自分の話をよく聞いてくれたり、一緒に遊んだりしてくれますか。 | 3.54 | 3.72 | 3.66 | 3.58 | 3.72 |
| | 児童評価 | 仕事の手配や優先順位を考えて、また、互いに支え合って、職務を遂行しようとするのができた。 | 夕打ちの活用や協議事項の焦点化により、会議時間の短縮を図る。 | | | | |
| | | 毎日の夕方の顔合わせにより、情報共有され、共通理解が図られるとともに、コミュニケーションをとり、教職員間の活性化を図ることもできた。 | 2.67 | 3.10 | 3.10 | 2.90 | 3.00 |
| | 成果 | 職員会議や研修において、協議すべき内容は整理し、より建設的に、かつ、効率的に焦点化したものになるように工夫する必要がある。 | | | | | |
| | 課題と改善の方向性 | 職員会議や研修において、協議すべき内容は整理し、より建設的に、かつ、効率的に焦点化したものになるように工夫する必要がある。 | | | | | |